

## ファイザー社製ワクチンの配分

### 【ファイザー社製ワクチンの配分の全体像】

- ファイザー社製ワクチンについては、まず、6月末までに約1億回分が供給され、これにより同月末までに高齢者2回接種分のワクチンを既にお配りしています。6月末時点の総接種回数は約4,400万回となり、一定の在庫があることとなります。
- 他方、1日当たりの接種回数は先月から100万回を超え、自治体や医療関係者等のご尽力により、非常に早いスピードで接種を進めていただいています。
- 第10クール(7/19と7/26の週)は、自治体からの希望量が配分量の3倍弱となっています。このため今後、在庫も有効に活用しながら、ワクチンの供給ペースに合わせて、接種スピードを最適化していただく必要があります。
- 第11クール(8/2と8/9の週)と第12クール(8/16と8/23の週)については、それぞれ10,000箱程度を配送予定ですが、在庫の少ない自治体に優先的に割り当てることとします。
- 各クール10,000箱程度のうち8,000箱程度は、基本計画枠として基本的に人口規模に応じて各市区町村に割り当てつつ、在庫量に応じて割当量を減じます。調整枠2,000箱程度は、在庫率や直近の接種実績に応じた割当てとする予定です。
- 第11クールと第12クールの配分の詳細は追ってお知らせします。

### 【ファイザー社製ワクチン第10クールの配分の詳細】

- ファイザー社製ワクチンの第10クール(7/19と7/26の週)は、ファイザー社との交渉により新たに供給可能となった600箱を含め、10,600箱をお配りします。
- 基本計画枠として64歳以下の人口に応じて8,000箱を配分し、残りの2,600箱については、
  - ・ モデルナ社製ワクチンを使用した「自治体の大規模接種」として申請された保留中の案件のうち、7月最終週までに必要な数量及び
  - ・ ワクチンの在庫率が低い自治体から順に上位200番程度までの自治体に、①直近1週間の接種回数 又は②希望量と基本計画枠の差分 のいずれか小さい方の箱数を配分することとしました。
- 個々の自治体の具体的な数量については、7/5の週早々に通知します。